

「母たちの神—比嘉康雄」展
Maternal Deities: Yasuo Higa Exhibition

琉球弧から、
母たちと神々の饗宴



久高島、フバワク、1975年

※フバワク：久高島の年中行事の一つ。お祓い、健康祈願。

2011年1月23日(日)—5月8日(日)

INTRODUCTION

比嘉康雄（ひが・やすお）は、沖縄を代表する写真家の一人であると共に、民俗学の分野でも大きな功績を残した人物です。比嘉は1968年の嘉手納空軍基地でのB52爆撃機墜落事故をきっかけに警察官を辞め、写真家になることを選びました。ベトナム戦争や日本への「復帰」に揺れた激動期の沖縄を象徴する写真家だといえます。

撮影の仕事で訪れた宮古島で出会った祭祀に衝撃を受け、沖縄文化の古層に惹きつけられていった比嘉は、「神の島」と呼ばれる久高島をはじめ、南は八重山諸島から北は奄美諸島に至る琉球弧の島々に関する膨大な記録を残すことになります。2000年に亡くなるまで、失われつつあった祭祀とそれを行う女性（母）たちの威厳に満ちた姿を丹念にカメラにおさめながら、琉球弧の精神文化の祖型を探っていきました。写真に写されたのは世界にあまり類を見ない一種の女神信仰・母性原理の祭祀であり、中には男子禁制の秘祭も多くあります。本展では、生前に比嘉の手で編まれたものの、未刊に終わった写真集「母たちの神」から全162点を紹介します。祖霊信仰、自然信仰に基づいた村落ごとの祭祀の多くはすでに変容し、途絶えてしまったものも少なくありませんが、残された写真は琉球弧の神々の豊穡な世界を現在に伝えてくれます。

本展は、沖縄県立美術館で開催された「母たちの神」展（2010年11月2日～2011年1月10日）の巡回展となります。



宮古島、狩俣、ウヤーン、1989年
※ウヤーン：「ウヤガン」ともいう。祖神祭。

「人々は、魂の不滅を信じ、魂の帰る場所、そして再生する場所を海の彼方のニラーハラー※に想定し、そこから守護力をもって島の聖域にたちかえる母神の存在に守護をたのんでいる。この「母たちの神」は、〈生む〉〈育てる〉〈守る〉という母性の有り様の中で形成された、つまり内発的、自然的で、生命に対する慈しみがベースになっている〈やさしい神〉である。

（中略）

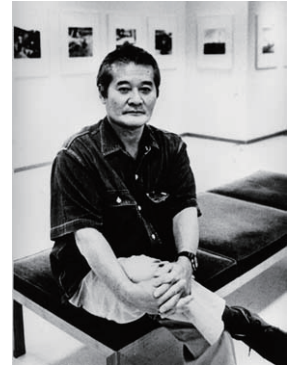
この母性原理の文化は、父性原理の文化がとどまることを知らず直進を続けて、破局の危うさを露呈している現代を考える大切な手がかりになるであろう」

※「ニライカナイ」と同義。海の彼方にあると信じられている他界で、神の在所。

比嘉康雄著『日本人の魂の原郷 沖縄久高島』より

PROFILE

1938年フィリピンに生まれ、敗戦後沖縄に引き揚げ。58年コザ高校卒業後、嘉手納警察署に配属。鑑識の写真係としてカメラを手にする。1968年の米軍機墜落事故を転機に退職。東京写真専門学校に学び、71年卒業と同時に写真展「生まれ島 沖縄」開催。74年民俗学者の谷川健一にカメラマンとして同行し、宮古島の祖神祭（ウヤガン）に衝撃を受ける。75年神女西銘シズとの出会いを契機に久高島に100回以上通い、年中祭祀を記録することになる。76年「おんな・神・まつり」で太陽賞。93年『神々の古層』シリーズにより日本写真協会年度賞、沖縄タイムス出版文化賞等を受賞。2000年逝去。2001年比嘉康雄回顧展「光と風と神々の世界」（那覇市民ギャラリー）開催。著書に『神々の島—沖縄久高島のまつり』（共著者・谷川健一、平凡社、1979年）、『琉球弧—女たちの祭』（共著者・谷川健一、朝日新聞社、1980年）、『日本の聖域（7）沖縄の聖なる島々』（共著者・湧上元雄、佼正出版社、1982年）、『生れ島・沖縄—アメリカ世から日本世—』（ニライ社、1992年）、『神々の古層』（全12巻、ニライ社、1989-1993年）、『日本人の魂の原郷—沖縄久高島』（集英社、2000年）。



《関連書籍》

『母たちの神 比嘉康雄写真集』

2010年、出版舎 Mugen

3,680円（税込）

290ページ、ハードカバー、A4変形版

編集：沖縄県立博物館・美術館

テキスト：仲里効、安里英子、後多田敦、翁長直樹、高良勉



西表島、祖納、シツ、1974年

※シツ（節）：健康・豊年祈願



伊良部島、イモニガイ、1995年

※イモニガイ：イモの豊作祈願



久高島、フボー御嶽、フバワク、1975年

※御嶽（うたき）：祭祀の中核となる聖域。フボー御嶽は現在も男子禁制。



久高島、クバの木、1978年1月

※クバ：ヤシ科の常緑樹。沖縄では御嶽と呼ばれる聖域によく見られ、神が降りる依代とされる。

INFORMATION

展覧会名：母たちの神—比嘉康雄展

(英語名)：Maternal Deities: Yasuo Higa Exhibition

会 期：2011 年 1 月 23 日 (日) — 2011 年 5 月 8 日 (日)

主 催：IZU PHOTO MUSEUM、沖縄県立博物館・美術館、沖縄県教育委員会

協 力：比嘉康雄展実行委員会

出 品 数：162 点

関連企画：●内覧会 2011 年 1 月 23 日 (日)

●トークイベント

①2011 年 1 月 23 日 (日) 14:15-16:00 「比嘉康雄のコスモロジー」

比嘉豊光 (写真家) × 高良勉 (詩人) × 翁長直樹 (沖縄県立博物館・美術館副館長)
× 小原真史 (IZU PHOTO MUSEUM 研究員)

②2011 年 3 月 27 日 (日) 14:15-16:00 「パナリ (離れ) 島へのまなざし」

仲里効 (批評家) × 小原真史

③2011 年 4 月 10 日 (日) 14:15-16:00 「比嘉康雄が求めた世界」

阿満利磨 (宗教学者/明治学院大学名誉教授)

●週末に学芸員によるギャラリートークを予定しております。

※詳細については IZU PHOTO MUSEUM ホームページをご覧ください。(www.izuphoto-museum.jp)

開館時間： (1 月) 10:00-16:30 (2・3 月) 10:00-17:00 (4・5 月) 10:00-18:00 *最終入館は閉館の 30 分前まで

休 館 日： 毎週水曜日 (祝日の場合は、翌日休)、年末年始

入 館 料： 大人 800 円 (700 円) / 高・大学生 400 円 (300 円) / 小・中学生無料 *() 内は、20 名様以上の団体料金

アクセス： ○お車の場合

[東京方面より] 東名裾野 I.C. より R246 経由、沼津方面へ 10km

[名古屋方面より] 東名沼津 I.C. より R246 経由、御殿場方面へ 5km

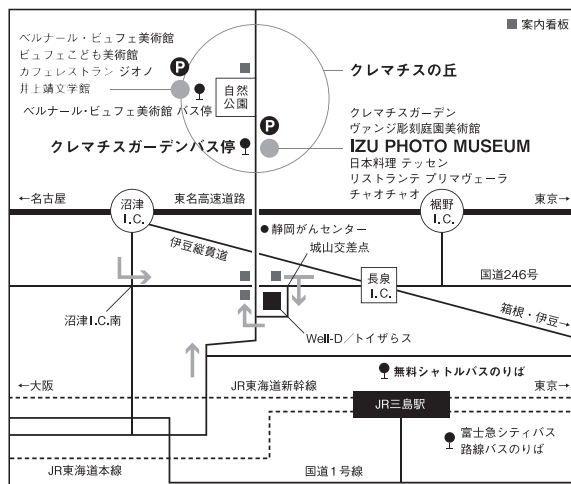
○電車の場合

JR 東海道線「三島駅」下車、北口から無料シャトルバスが出ています。

お問合せ： ○お電話でのお問合せ TEL. 055-989-8780

○美術館公式ホームページ <http://www.izuphoto-museum.jp>

○住所 〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘 (スルガ平) 347-1



IMAGES

下記6点の作品について画像資料（デジタルデータのみ）をご用意しております。
ご希望の場合は、下の必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。
※必要な画像資料にチェックを入れてください



☐ A) 久高島、フバク、1975 年
Kudaka Island, Fubakuwa, 1975



☐ B) 宮古島、狩俣、ウヤーン、1989 年
Miyako Island, Karimata, Uyan, 1989



☐ C) 西表島、祖納、シツ、1974 年
Iriomote Island, Sonai, Shitsu, 1974



☐ D) 伊良部島、イモニガイ、1995 年
Irabu Island, Imonigai, 1995



☐ E) 久高島、フボー御嶽、フバク、1975 年
Kudaka Island, Fubo Utaki, Fubawaku, 1975



☐ F) 久高島、クバの木、1978 年 1 月
Kudaka Island, Kuba tree, Jan. 1978

■貴媒体名 _____

■掲載号 _____ ■発売日／放映日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

■貴社名 _____ ■ご担当者様 _____

■TEL _____ ■FAX _____

■E-MAIL _____ @ _____

■ご住所 _____

■資料お届け期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日までにご希望

FAX. 055-989-8783

IZU PHOTO MUSEUM 広報担当 (永原／奥山) 宛

〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘(スルガ平) 347-1 TEL 055-989-8780